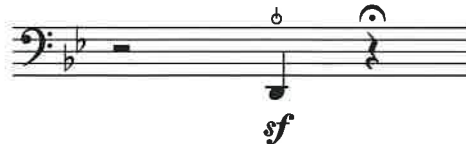


『微睡の中で』 寸評

- ・ 模索のあとが垣間みえる
- ・ ブツブツとぎれる楽想をさらにブラッシュアップしてパワーアップさせる
- ・ 微睡にとどまらぬドラマが発展する要素がちりばめられている
- ・ 「まどろみの内側」とかもっと反対側を想像させてもよいかな
- ・ m.1 課題旋律をうめこんでしまったのはよいアイデア

完成度をさらに上げるために

- ・ m.12-14 Vn. トレモロにさせる さらにm.14 は *sul ponticello* で **pp** なんかで雰囲気をつくる
- ・ *sul ponticello* は駒ちかくを奏し音色の変化をねらう
- ・ m.15 b.4 Va. 3度上のミ♭でb.3 とおなじ和声にしひびきの充実をはかる
- ・ m.9-10 Vn. どちらも全休符ひとつを小節のまんなかに
- ・ m.16 b.3 Vcl. オクターヴ下のシ♭でひびきのさらなる充実を
- ・ m.14 b.3 Vcl. 五線下の低いレをバルトーク・ピチカートで四分音符で さらにb.4 はフェルマータで一旦停止 m.15 は *a tempo*



- ・ m.12 Vn. に楽句をうけつがせてドラマをつくる



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

まどろみにもひそむサスペンス。

持魔 勉